

研究の概要

20 20 年 11 月 7 日

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名：	不妊患者における膣分泌物グラム染色の有用性
代表研究者 (所属・氏名)：	医局 中村 春樹
研究の目的：	膣分泌物グラム染色は細菌性膣症の簡便な検査法である。細菌性膣症は流産や早産のリスク因子として知られている。不妊患者における膣分泌物グラム染色の有用性を検討することを目的とした。
調査データ該当期間：	20 19 年 4 月 1 日 ~ 20 20 年 4 月 1 日
研究の方法 (使用する試料/情報等)：	2019年4月から2020年4月までの期間、当院で膣分泌物グラム染色を施行した不妊患者446例と子宮内フローラ検査を実施した64例を対象に細菌性膣症のリスク因子について、および膣分泌物グラム染色と子宮内フローラ検査における乳酸桿菌率の相関について検討した。
個人情報の取り扱い：	患者資料を分析する際には匿名化をする。また資料の分析から得られる情報についても、厳重な管理とセキュリティ体制の整備を徹底し、匿名化を行い、符号のみで取り扱うので、個人情報は公開されない。
本研究の資金源 (利益相反)：	なし
お問い合わせ先 ：代表電話 ：担当者(部門・氏名)	06-6534-8824 医局 中村 春樹
備考	